

令和4年

- 第9回 -

藤岡市教育委員会定例会議事録

藤岡市教育委員会

令和4年第9回藤岡市教育委員会定例会議事録

日 時 令和4年7月22日(金)
午後2時50分
場 所 藤岡歴史館 会議室

開 会

日程第 1 第8回定例会の議事録の承認

日程第 2 教育長の諸報告

日程第 3 議案第35号 行政手続における押印の見直しに伴う関係規則の整理等に関する規則の制定について

閉 会

・出席委員等

教 育 長	田 中 政 文 君	教育長職務代理者	田 村 洋 子 君
委 員	櫻 井 正 明 君	委 員	内 田 孝 嗣 君
委 員	高 橋 祐 紀 君		

・欠席委員

なし

・説明のため出席した者

教 育 部 長	小 島 治 君	教育総務課長	堀 越 輝 雄 君
学校教育課長	大 塚 崇 君	生涯学習課長	植野 美佐子 君
文化財保護課長	軽 部 達 也 君	スポーツ課長	岸 憲 彦 君
学校給食センター所長	木 島 尚 美 君	図 書 館 長	湊田 真由美 君

・事務局職員出席者

課長補佐兼係長	山 下 由 希 子	書 記	高 橋 秀 仁
---------	-----------	-----	---------

会議の概要

開会 14時50分

開 会

教育長（田中政文君）出席委員、過半数以上でありますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、会議は成立いたします。

それでは、ただ今より令和4年第9回藤岡市教育委員会定例会を開会します。

初めに、議事録署名人の指名を行います。藤岡市教育委員会会議規則第20条第1項に基づき、高橋書記を指名します。

日程第1 第8回定例会の議事録の承認

教育長（田中政文君）日程第1 第8回定例会の議事録の承認でございますが、各委員におかれましては、訂正箇所等がありましたらお願いします。

委員一同 なし。

教育長（田中政文君）第8回定例会の議事録を承認することで、よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

教育長（田中政文君）第8回定例会の議事録は承認されました。

日程第2 教育長の諸報告

教育長（田中政文君）日程第2 教育長の諸報告についてですが私から報告します。

教育長（田中政文君）最初に教育総務課です。老朽化した体育館の機能回復とともに避難所としての機能充実を図るため、各小中学校の体育館改修工事を令和8年度まで計画的に実施していく予定ですが、今年度を実施する藤岡第一小学校と鬼石北小学校の体育館改修工事について、7月1日に入札が執行されました。藤岡第一小学校については、屋根や床等の改修を行う建築工事は塚本建設株式会社、照明設備等の更新を行う電気設備工事は岩井電気工事株式会社、トイレ等の改修を行う機械設備工事は藤岡管設株式会社が落札しました。また、鬼石北小学校については、建築工事は株式会社豊田工務店、電気設備工事は有限会社萩原電気工事、機械設備工事は株式会社宇佐見商会在が落札しました。それぞれ、本年12月末の完了予定です。

今後、関係者と十分調整を図りながら、事故のないよう進めてまいります。

次に学校教育課です。小中一貫教育に関しては、1学期後半分の鬼石北小学校、美土里小学校、日野小学校、美九里東小学校の計画訪問を実施しました。どの学校も本市の授業スタンダードを踏まえ、児童生徒主体の授業づくりに取り組んでおり、学習活動の充実が見られました。特に「これまで」の学びを、児童生徒がねらいの達成のために思考する場面のヒントとする、学びのつながりをふまえた授業が増えました。

コミュニティ・スクールとしては、いじめ問題解決に向けた教育懇談会を、学校運営協議会主催のもと鬼石・小野・西中校区で開催しました。鬼石は「子どものSOSを受け止めるには」、小野は「アクションプランを実践していじめのない地域に」、西は「見えづらくなっているいじめにどう対応するか」というテーマで活発なグループ討議がなされました。北中校区では「とらいアングルの集い」というボランティアの集いが学校運営協議会主催で開かれ、学校ボランティアの横のつながりの強化、協力者の拡大を目指し、熱心に情報交換を行いました。

子どもたちの安全確保に関しては、熱中症予防のため、登下校中はマスクを外させたり、WBGTという暑さの指数が31度を超えた時には、校庭に出さなかったり、プールでの水泳を中止にしたりしました。新型コロナウイルス感染症予防にも努めていましたが、7月中旬以降、小中学校で子どもの陽性者が急増し、学期末まで学級閉鎖が14、学年閉鎖が1となりました。また、7月7日より8月1日にかけて、中学校区ごとに通学路の安全点検を実施しております。県や市の道路管理所管課、警察、市の土木課等と連携し、子どもたちの安全な環境づくりを進めたいと思います。加えて、登下校時の急な雷雨や不審者出没の際等に助けを求める、通学路の「あんしんの家」のステッカーの更新を区長に依頼しました。藤岡地区・神流地区を皮切りに順次今までよりも大判にして、より目立つようにしていきます。

中学校では、7月9日から18日までに藤岡多野中体連夏季大会が行われ、各会場で熱戦が繰り広げられました。27日から8月1日までにかけて県大会が開催されます。

次に、生涯学習課です。7月2日、藤岡市民ホールにおいて、少年の主張藤岡市大会を開催しました。各中学校より推薦された21名が、日頃の生活の中で感じていることや思いを発表しました。最優秀者の3名は、8月6日に安中市松井田文化会館で開催される西部地区大会へ出場します。9日には、文化協会創立45周年芸能発表会をみかぼみらい館で開催しました。文化協会会員による50団体、230

名が出演し、詩吟、歌謡、大正琴、フォークダンスなどの発表を行い、来場者は334名でした。また、14日には、青少年センター運営協議会を開催し、令和3年度の事業報告及び令和4年度の事業計画が承認されました。青少年健全育成と非行防止のため、関係機関と連携を図りながら、様々な活動に取り組んでまいります。

明日7月23日から8月7日までの土・日曜日の6日間、青少年センター指導員による学習支援教室を開催する予定でしたが、市内の新型コロナウイルス感染者が増加していることから、中止といたしました。

6月の総合学習センター利用状況は、文化施設利用270団体2,924人、体育施設利用136団体2,127人で、合計406団体5,051人でした。

次に文化財保護課です。藤岡歴史館・高山社跡は新型コロナウイルス感染対策を実施しながら通常のとおり開館しています。

三波川サクラの樹勢回復事業は随時、現地で作業を行っています。6月30日に委員会を開催し、にぎわい観光課の実施してきた樹勢回復との情報共有と桜山で実施している調査や樹勢回復作業の状況を報告して、各委員から意見を聴取しました。また、今後、藤岡中央高校科学部が樹勢回復事業に参加を希望しているので、そのことについても了承されました。

埋蔵文化財発掘調査関係は、保美地区遺跡群発掘調査は発掘調査を実施していません。中世の城館跡の一部がかかる範囲です。牛田・川除地区遺跡群発掘調査は整理作業、報告書作成を実施しています。6月27日に市指定史跡牛田廃寺の県指定史跡へ向けた群馬県文化財審議委員の現地調査がありました。6月28日には毛野国白石丘陵公園史跡整備委員会が開催され、白石稻荷山古墳調査の状況と今年度、来年度以降の調査計画について審議いただきました。

世界遺産高山社跡関係では、母屋兼蚕室の保存修復工事を継続しています。転用材が多く使われているなど痕跡調査、計測などに時間がかかっています。現在、1階床板の取り外しが行われており、床下の囲炉裏の状態などが見えています。今後9月にかけて柱など軸組の解体が行われる予定です。7月20日に藤岡市議会教務厚生常任委員会の所管調査が高山社跡保存整備事業に入り、説明と現地視察を行いました。

6月の高山社跡及び藤岡歴史館の入場者数は、高山社跡294人、藤岡歴史館は521人でした。また、藤岡市デジタル博物館アクセス数は4,361件でした。

次にスポーツ課です。新型コロナウイルス感染症関係ですが、現在、市内の社会体育活動については、感染防止対策を徹底した上で、対外試合や宿泊を伴う活動を

含め、通常の活動を実施しております。

スポーツ大会関係については、6月21日に開幕した第19回藤岡市長杯古希軟式野球大会は10日間のトーナメント方式により開催され、33チームの出場で799人が参加しました。7月に入り、3日に第51回藤岡市卓球クラブ大会兼第45回藤岡市レディース卓球大会、16日に第30回藤岡市スポーツ少年団軟式野球低学年大会が開催され、合計で626人が参加しました。なお、2日に予定していた第44回藤岡市民新人テニス大会一般の部は、参加人数の不足により中止となりました。

教室関係については、日常生活筋力アップ教室、知的障がい者水泳教室、陸上競技教室の3教室が4月から継続しており、合計で104人が参加しております。また、新体操教室、親子バドミントン教室、初心者テニス教室、健康体力づくり教室、ジュニアサッカー教室、ゴールキーパースクールの6教室が5月から継続しており、合計で98人が参加しております。なお、新体操教室は7月5日、日常生活筋力アップ教室は7月12日で終了となりました。

次に学校給食センターです。先週から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が急激に広がる中、市内の小学校においても学級閉鎖が相次ぎ、食数の変更等の対応に慌ただしく追われる形ではありましたが、食中毒等の事故もなく、一学期最後の給食を7月19日に提供することができました。

食育の関係につきましても学級閉鎖の影響を受け、先週いくつかの学級への訪問は見送ることとなりましたが、その他は計画通りに栄養士による給食時訪問等を実施することができました。引き続き2学期も実施する予定です。

また、給食の配送業務についてですが、平成29年8月から委託し実施してきておりますが、7月末で5年間の契約が満了となるため、6月30日に入札を実施しました。結果、株式会社萬場が落札いたしましたので、引き続き令和9年7月まで株式会社萬場に委託することとなります。

最後に図書館です。第1回図書館協議会を6月27日に開催し、令和3年度貸出状況及び事業報告、令和4年度事業計画の説明を行い、承認されました。

夏休みの企画事業としましては、7月30日にあそびの学校紙芝居の出前公演、7月31日に「コウとチョウゴロウの夏」上映会、としょかんビンゴを開催します。

個人情報に係る部分を省略

6月の利用状況は、開館日数26日、入館者数9,610人、貸出冊数26,911冊でした。学校巡回文庫は9校を巡回し、利用児童数709人、貸出冊数1,953冊でした。電子図書館は、利用者数273人、貸出冊数1,394冊でした。

以上、教育長諸報告といたします。

教育長（田中政文君）ただ今の諸報告について、ご質問がありましたらお願いします。
委員一同 なし。

教育長（田中政文君）質問もないようでございますので、教育長の諸報告を終わります。

日程第3 議案第35号 行政手続における押印の見直しに伴う関係規則の整理等に関する規則の制定について

教育長（田中政文君）日程第3 議案第35号 行政手続における押印の見直しに伴う関係規則の整理等に関する規則の制定について、事務局より説明をお願いします。
教育総務課長（堀越輝雄君）議案第35号について朗読及び概要説明をする。

（説明内容）市民の利便性向上と行政手続の簡素化推進のため、本市においても行政手続における押印廃止の取組を進めており、所要の例規改正等を行っておりますが、教育委員会においても、改正理由を同じくする5件の規則改正を整理規則として制定し、一括して所要の改正を行うものであります。

具体的な改正内容としましては、第1条の藤岡市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の施行に関する藤岡市教育委員会規則の一部改正では、様式第1号及び第3号を記名でも押印を省略できるものとして、申請者の押印マークを削り、その他条文中の字句を改正するものです。

第2条の藤岡市鬼石多目的ホールの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正は、様式第1号、第2号、第3号、第4号、第9号、第10号を記名でも押印を省略できるものとして申請人の押印マークを削り、様式第3号の2を自署する場合は押印を省略できるものとしてその旨の記載を追加、また、その他条文及び様式中の字句等を改正するものです。

第3条の藤岡市総合学習センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正は、様式第1号の2に自署する場合は押印を省略できる旨の記載を追加し、その他条文及び様式中の字句等を改正するものです。

第4条の藤岡市文化財保護条例施行規則の一部改正は、様式第1号、第2号、第5号、第7号、第8号、第9号、第10号に自署する場合は押印を省略できる旨の記載を追加し、様式第11号、第12号、第13号、第14号、第15号、第16号の申請者の押印マークを削り、その他条文及び様式中の字句等を改正するものです。

第5条の藤岡市歴史民俗資料の管理に関する規則の一部改正は、様式第1号、第3号、第6号、第8号で申請者の押印マークを削り、様式第10号には自署する場合は押印を省略できる旨の記載を追加し、その他条文及び様式中の字句等を改正するものです。

なお、これら規則につきましては、実務上は、該当する様式について、現在既に今回の改正と同様の運用を行っております。また、施行日につきましては、公布の日からとするものであります。

教育長（田中政文君）ただ今、事務局より議案第35号について説明がありました。

これについてご質疑又はご意見がありましたらお願いします。

委員一同 なし。

教育長（田中政文君）ご質疑はありませんので、質疑を終了いたします。

これより採決いたします。

議案第35号について承認することにご異議ございませんか。

委員一同 異議なし。

教育長（田中政文君）異議がないようですので、議案第35号 行政手続における押印の見直しに伴う関係規則の整理等に関する規則の制定については、原案のとおり承認されました。

閉 会

教育長（田中政文君）以上で、本委員会に提出されました議案の審議は全て終了しましたので、本日の会議を閉会します。

閉会 午後3時20分

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和4年8月25日

教育長 田 中 政 文

書記 高橋 秀仁